

科目名		キャリアデザインⅠ			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セミナー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	1、学校やクラスを知り、新しい環境に慣れる。 2、各コースの取り組みやクラス内で活動を通して友人をつくる。 3、各学期初めに目標を設定する 4、学期末に目標の振り返りを行う				
学習目標 (到達目標)	卒業できる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	時間割・年間スケジュール・学生の手引き・スタディサプリ・その他レジュメ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～3	新入生オリエンテーション①: 学校を知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
4～6	新入生オリエンテーション②: 学校のルールを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
7	英語レベルチェック	現在の英語のレベルを知る			
8～10	パソコンの設定 (Zoom、メールなど)	学校納給か自身でパソコンを購入する			
11～12	新入生オリエンテーション③: クラスを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
13～14	新入生オリエンテーション④: 不安を解消する	クラス交流			
15～16	クラスホームルーム 自己発見検査 学生証登録	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
17～18	クラスホームルーム 時間割の見方やスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
19～20	クラスホームルーム クラス内で話せる友人を獲やす	クラス交流			
21～26	前期目標設定	パソコンで作成。			
27～28	2年生との交流で、相談できる環境をつくる	オンラインZoomを使用。			
29～34	個人面談+課題 (レポート作成)	パソコンで作成。			
35～36	インターンシップ身だしなみについて	パソコンを使用。			
37～40	海外研修旅行 行先別割合合わせ	パソコンを使用。			
41～42	健康診断	パソコンを使用。			
43～46	学年交流 妙高研修旅行 説明	レジュメ作成。			
47～52	妙高研修旅行 当日	レジュメ作成。			
53	バス旅行 振り返り	レポート提出。			
54～55	NSG大運動会について 説明	レジュメを使用。			
56～61	NSG大運動会 本番	レジュメを使用。			
62～63	センスアップテスト	レジュメを使用。			
64～65	夏休みの過ごし方・夏休み後のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
66～68	前期振り返り～後期のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
69～72	後期目標設定	パソコンで作成。			
73～78	個人面談+課題 (進級制作発表会準備)	オンラインZoomを使用。			
79～84	ブレ求職登録面接準備	レジュメを使用。			
85～90	ブレ求職登録面接	レジュメを使用。			
91～94	年明け時間割・スケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
95～107	求職登録面接準備	レジュメを使用。			
108～114	求職登録面接①	レジュメを使用。			
116～123	求職登録面接②	レジュメを使用。			
124～131	求職登録面接③	レジュメを使用。			
132～141	グループディスカッション練習	レジュメを使用。			
142～144	グループ面接練習	レジュメを使用。			
148	1年間振り返り	レポート提出。			
149～150	修了式	補講や追講があれば消化しておく。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業形態・出席率100%		スケジュール変更と自前出席を持って、積極的に取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった				

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ	テキスト P.6～			
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方	テキスト P.14～			
5～8	動画履歴書作成	テキスト P.18～			
9 10	自己分析 自分自身を知る	テキスト P.27～			
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント	テキスト P.36～			
24～30	面接指導 自己分析 自己PR	テキスト P.52～			
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用	テキスト P.66～			
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修（1月）・求職登録面接				
61～70	就職研修（2月）・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	ビジネス実務				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	テキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	ガイド 第1章 表記技能		漢字、書式のテキスト内の問題を解く		
5～9	ガイド 第2章 表現技能		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
10～13	ガイド 第3章 実務技能		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
12～15	電話対応		電話の受け方、伝言メモ作成、掛け方		
16～20	過去問題、PCを使って文章を作成する				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気づき→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言いつ		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義	講義（コミュニケーション技法テキスト使用）			
3・4	・コミュニケーションの基本を身に着けよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
5・6	・話すときの心構えを理解しよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
7・8	・効果的な話し方を身に着けよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
9・10	・きれいな発声・発音を身に着けよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
11・12	・正しい日本語を身に着けよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
13・14	・効果的な表現力を身に着けよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
15・16	・聞くことの重要性	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
17・18	・各種コミュニケーション場面とポイント	問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）			
19・20	過去問題1	問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）			
21・22	過去問題2	問題演習・解答解説			
23・24	過去問題3（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
25・26	過去問題4（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
27・28	過去問題5（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
29・30	検定本番、振り返り	問題演習・解答解説			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとり入れられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	ホスピタリエ認定講座	パワーポイント・テキスト			
6	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
7	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質	パワーポイント			
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣	パワーポイント			
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！	パワーポイント			
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために	パワーポイント			
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介	パワーポイント			
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ	パワーポイント			
13	起きてから寝るまでのファーストステップ	パワーポイント			
14	ホスピタリエの5つの資質の再チェック	パワーポイント			
15	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
16	自分のイヤ 自分以外のイヤ	パワーポイント			
17	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
19	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
20	学校生活の中でホスピタリエの学びが役立った事例レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	サーティファイ WORD2021クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Wordの基本		実習		
3・4	文字の入力と編集の基本操作		実習		
5・6	文書の編集		実習		
7・8	文書の印刷		実習		
9・10	文書の作成		実習		
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成		実習		
15・16	検定対策 問題集 練習問題 1		実習		
17・18	検定対策 問題集 練習問題 2		実習		
19・20	検定対策 問題集 練習問題 3		実習		
21・22	検定対策 問題集 模擬問題 1		実習		
23・24	検定対策 問題集 模擬問題 2		実習		
25・26	検定対策 問題集 模擬問題 3				
27・28	検定対策 問題集 模擬問題 4				
29・30	検定対策 問題集 模擬問題 5				
31・32	サンプル問題				
33・34	過去問題 1				
35	検定試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴		営業、企画、学校設立、教育指導経験あり			

科目名	日常英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1.2	オリエンテーション Unit1			スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト	
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。	
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名		葬儀概論			
担当教員	馬場美恵	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セミナー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1. 葬儀の一般的な流れを学ぶ。 2. 葬儀業界の概観や葬儀の歴史を学ぶ。 3. 葬儀業界の概観や業務内容を学ぶ。 4. 宗教ごとの葬儀慣習を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	葬式テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	葬式三訂葬儀概論ほかレジュメを使用				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	オリエンテーション (授業の目的を知る)	自己紹介			
3～6	業界を探りゆく探検 (葬儀論、企業の取組態勢) について学ぶ	レジュメ作成			
7～10	葬儀の業態を知る	レジュメ作成			
11～14	「業界が求める人」を知る	葬儀礼仪講義(非下巻)			
15～18	葬式場と葬儀の歴史を知る	レジュメ作成			
19～22	葬送企業について知る	レジュメ作成			
23～26	業界で働くということを知る	卒業生との懇話会を行う			
27～30	葬儀の意味を知る	葬儀概論 P9～20			
31～34	葬儀の流れを知る 葬儀～通夜の始末	葬儀概論 P102～P108			
35～38	葬儀の流れを知る 通夜会前～執事	葬儀概論 P107～P109 P115～P117			
39～42	葬儀の流れを知る 死亡届・死亡診断書・火葬手続	葬儀概論 P100～P101			
43～46	葬儀の流れを知る 通夜、葬儀の打ち合わせ	葬儀概論 P109～P115			
47～50	葬儀の流れを知る 死亡宣告、戸籍	葬儀概論 P164～P166			
51～54	葬儀の流れを知る 戒告、納骨付付	葬儀概論 P125～P131			
55～58	葬儀の流れを知る 納骨の仕方	葬儀概論 P118～P124			
59～62	葬儀の流れを知る 戒告について	葬儀概論 P134 P147～P148			
63～66	葬儀の流れを知る 通夜式とは	葬儀概論 P132～P135			
67～70	葬儀の流れを知る 葬儀、告別式	葬儀概論 P135～P144			
71～74	葬儀の流れを知る 出棺～火葬許可	葬儀概論 P144～P148			
75～78	葬儀の流れを知る 去喪、葬儀	葬儀概論 P149 P154～158			
79～82	葬儀の流れを知る 宗教、法規について	葬儀概論 P186～P193			
83～84	筆記テスト				
85～88	葬儀の知識を身につける 死亡届市、死亡届書、葬儀方法	葬儀概論 P163～168			
89～92	葬儀の知識を身につける 香典、喪礼金、香奠金	葬儀概論 P169～176			
93～96	葬儀の知識を身につける 棺、祭壇、葬具	葬儀概論 P177～185			
97～100	葬儀の知識を身につける 式名、布位、仏壇、位牌	葬儀概論 P186～195			
101～104	葬儀の知識を身につける 葬、葬後の準備金、葬儀	葬儀概論 P196～209			
105～108	葬儀の知識を身につける 遺言、相続権、遺体の金銭処理、葬儀執事	葬儀概論 P210～221			
109～112	葬儀の知識を身につける 音楽と葬儀、音楽葬儀、音楽葬儀システム	葬儀概論 P222～228			
113～116	葬儀の知識を身につける カラーブック	葬儀概論 P229～234			
117～118	筆記テスト				
119～120	日本の宗教の概観 宗教団体、神道、仏教、キリスト教、新宗教				
123～126	宗教概論を学ぶ 神道、天竺宗、真言宗	葬儀概論 P263～P272			
127～130	宗教概論を学ぶ 浄土宗、浄土真宗	葬儀概論 P273～P281			
131～134	宗教概論を学ぶ 臨済宗、曹洞宗、日蓮宗	葬儀概論 P282～P289			
135～138	宗教概論を学ぶ サトウハチロー、プロテスタント	葬儀概論 P290～P298			
139～141	宗教概論を学ぶ 天竺教、金光教、友人葬	葬儀概論 P299～P304			
142～145	葬祭サービスとは 事例研究から学ぶ				
146～147	筆記テスト				
148～151	企業研究1	企業研究ワークシートを参照。			
152～155	企業研究2	企業研究ワークシートを参照。			
156～159	企業研究3	企業研究ワークシートを参照。			
160～163	企業研究4	企業研究ワークシートを参照。			
164～167	企業研究5	企業研究ワークシートを参照。			
168～169	卒業生働き方や職場を考える	卒業生との懇話会			
170	1年当振り返り				
		評価方法・成績評価基準		履修上の注意	
成績発表・出席率80%、筆記テスト20%		成績評価基準は、S:90点以上・A:80点以上・B:70点以上・C:60点以上・D:55点以下とする。		修業の知識を身につける。実習の心得を尊重し、修業の心得を身につける。修業の心得を身につける。	
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

科目名		葬儀実務			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実習を通して遺体の搬送や電話応対、納棺や着せ替え、葬儀の司会などの技術を身につける。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る	レジュメを使用。			
3 4	電話応対を学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	遺体の搬送について学ぶ	搬送の実習を行う			
7 8	遺体の安置、夜間の宿直業務を学ぶ	遺体の安置実習を行う			
9 10	葬儀の相談内容を学ぶ	相談内容をテキストなどで知る			
11 12	自宅飾り（祭壇設営、門パイ出し、床の間飾り、神棚封じ）を知る	自宅飾りの道具を画像などで知る			
13 14	自宅迎え（自宅から式場への搬送）を学ぶ	レジュメにて業務のポイントを知る			
15～22	納棺着せ替え実習	納棺時の着せ替えを実習で覚える			
23～30	幕張実習	検定の幕張課題のやり方を覚える			
31～36	葬儀の司会実習	実際の葬儀に使用する台本で司会の話し方を覚える			
37～40	接遇実習	検定の接遇実習のやり方を学ぶ			
41～46	事前相談実習	自分の目標タイムを設定する			
47～50	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		葬儀の業務を経験することで、受け身の研修ではなく、自ら積極的に関わられるようにする。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	手話Ⅰ				
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、手話の基本を学ぶ。 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	手話で自己紹介ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	自己紹介				
3 4	指文字「あ行～な行」	テキストと動画を使用。			
5 6	指文字「は行～和行」	テキストと動画を使用。			
7 8	挨拶の単語を学ぶ	テキストと動画を使用。			
9 10	地名の単語・食べ物単語を学ぶ	テキストと動画を使用。			
11 12	都道府県名、代表的な都市名を学ぶ	テキストと動画を使用。			
13 14	過去と未来の単語、会話を学ぶ	テキストと動画を使用。			
15 16	性格・趣味の単語を学ぶ	テキストと動画を使用。			
17 18	確認テスト	テキストと動画を使用。			
19 20	振り返り	テキストと動画を使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度80%	確認テスト20%	授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワー I				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花の作成を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	授業で使用する生花を手配する（予算を決めておく）				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	墓花・仏花を作成してみる	実習で学ぶ。			
5～8	遺影写真脇の生花のアレンジを作成してみる	実習で学ぶ。			
9～10	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		生花の扱い方に慣れる。			
		生花店を経営して15年以上携わっている			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポート				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、グリーフとはどういうものかを知る 2、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ	レジュメを使用。			
3 4	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	グリーフがもたらす身体的な影響について学ぶ	レジュメを使用。			
7 8	グリーフとの具体的な向き合い方について学ぶ	レジュメを使用。			
9 10	最終レポート作成	レジュメを使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度50% 最終レポート50% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。		授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでく ださい。			
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスにて20年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフワーク				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーフを知り、受け入れるためのワークショップを実習で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	授業の目的、グループワーク①		ワークショップ		
3 4	グループワーク②		ワークショップ		
5 6	グループワーク③		ワークショップ		
7 8	グループワーク④		ワークショップ		
9 10	グループワーク⑤ 授業の振り返りレポート		ワークショップ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 振り返りレポート20%			授業の目的を意識しながら、グループワークを行きましょう。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

科目名 心理学（こころ検定対策）					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セラモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	65
授業概要、目的、 授業の進め方	1、心理学の基本的知識を学ぶ。 2、自分の気持ちにもきき合う				
学習目標 (到達目標)	こころ検定4級に合格する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	こころ検定4級公式テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション～検定について知る		テキストとパワーポイントを使用。		
2	第1章 学習心理学 「学習」「行動」「反応」とは		テキストとパワーポイントを使用。		
3	第1章 学習心理学 「レスポナント行動」「オペラント行動」		テキストとパワーポイントを使用。		
4	第1章 学習心理学 「ハズワシの人の実験」「ピア」「スキナー」「オハズワシ」		テキストとパワーポイントを使用。		
5	第1章 学習心理学 「オハズワシ」「ピア」「スキナー」「オハズワシ」		テキストとパワーポイントを使用。		
6	第1章 学習心理学 「授業の知識」「分散効果」「集中練習」		テキストとパワーポイントを使用。		
7	第1章 学習心理学 「目的補強の原則」「延宕効果」「加減運動効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
8	第2章 認知心理学 「人のこころの流れについて」		テキストとパワーポイントを使用。		
9	第2章 認知心理学 「情報処理」「人の仕事の流れを考えた場合」		テキストとパワーポイントを使用。		
10	第2章 認知心理学 「記憶について」		テキストとパワーポイントを使用。		
11	第2章 認知心理学 「初見効果」「新近効果」など様々な効果		テキストとパワーポイントを使用。		
12	第2章 認知心理学 「記憶に関する様々な現象について」		テキストとパワーポイントを使用。		
13	第2章 認知心理学 「ワーキングメモリ」「スキーマ」「スキーマ」「スキーマ」		テキストとパワーポイントを使用。		
14	第2章 認知心理学 「時間」の記憶について		テキストとパワーポイントを使用。		
15	第3章 生理心理学 「生理心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
16	第3章 生理心理学 「神経伝達物質」		テキストとパワーポイントを使用。		
17	第3章 生理心理学 「脳の神経細胞」		テキストとパワーポイントを使用。		
18	第3章 生理心理学 「ホルモンの働き」		テキストとパワーポイントを使用。		
19	第3章 生理心理学 「ストレス」		テキストとパワーポイントを使用。		
20	第4章 知覚心理学 「知覚心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
21	第4章 知覚心理学 「両眼手がかり」「単眼手がかり」		テキストとパワーポイントを使用。		
22	第4章 知覚心理学 「錯視」		テキストとパワーポイントを使用。		
23	第4章 知覚心理学 「錯視」		テキストとパワーポイントを使用。		
24	第4章 知覚心理学 「視覚覚醒法」		テキストとパワーポイントを使用。		
25	第5章 社会心理学 「社会心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
26	第5章 社会心理学 「どうして他者が気になるのか？」		テキストとパワーポイントを使用。		
27	第5章 社会心理学 「対人魅力」		テキストとパワーポイントを使用。		
28	第5章 社会心理学 「コミュニケーションと効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
29	第5章 社会心理学 「個人と集団の心理の違い」		テキストとパワーポイントを使用。		
30	第6章 感情心理学 「感情心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
31	第6章 感情心理学 「ネガティブな感情」「ポジティブな感情」		テキストとパワーポイントを使用。		
32	第6章 感情心理学 「感情理解」		テキストとパワーポイントを使用。		
33	第6章 感情心理学 「感情と行動について」		テキストとパワーポイントを使用。		
34	第6章 感情心理学 「気持ちを測定する」		テキストとパワーポイントを使用。		
35	第6章 感情心理学 「肉体的動機づけ」「外見的動機づけ」		テキストとパワーポイントを使用。		
36	第7章 知能 「知能とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
37	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
38	第7章 知能 「社会的知能」「知性」		テキストとパワーポイントを使用。		
39	第7章 知能 「人間と動物の知能」		テキストとパワーポイントを使用。		
40	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
41-65	検定対策 問題の取り組み		過去問題、オリジナル問題を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業出席20%、課題テスト80%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			4級検定が課せられて、1年次から5年次まで毎年実施される。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場で8年以上携わっている			

科目名		イベントプロデュースⅠ			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、 授業の進め方	1、お別れ会プラン企画発表会を通じて、自分たちが学んだことを形にして他者から評価を受ける。 2、模擬葬儀イベントを通じてチームワークを身につける。 3、企業連携により、社会に関わる意識を育てる。 4、成長した姿を保護者に見てもらい、就職活動を応援してもらう。				
学習目標 (到達目標)	1、在校生や保護者に向けて、学んだことを披露する 2、企業・業界に向けて自分たちの考えを表現し、業界に関わる意識を育てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	オリエンテーション～イベント内容を知る	時間割や年間スケジュールを使用。			
3～6	お別れ会プランの企画を考える	パソコンで調べ学習。			
7～12	発表台本・PP作成	パソコンで作成。			
13～15	お別れ会プラン企画発表会	本番を想定して、身だしなみを整える。			
16～17	イベント振り返り	レポート提出。			
18～21	「お寺でゴーン」準備	選抜メンバーだけでなく全員で協力する。			
22～26	「お寺でゴーン」リハーサル	本番を想定してリハーサル			
27～30	「お寺でゴーン」本番	本番を想定して、身だしなみを整える。			
31～32	「お寺でゴーン」振り返り	レポート提出。			
33～36	模擬葬儀準備（個人設定、役割決め）	チームで1つの葬儀をつくる。			
37～44	模擬葬儀リハーサル	企業に見てもらうため、身だしなみや話し方にも気を配る。			
45～48	模擬葬儀本番	企業で実施予定。			
49～50	イベント振り返り	レポート提出。			
51～55	秋フェス準備	2年生と協力して、内容決める。			
56～61	秋フェス本番	不測の事態を予想しながら取り組む。			
62～63	イベント振り返り	レポート提出。			
64～67	進級制作発表会の目的・テーマ決め	進級制作テーマを決める。			
68～72	台本・PP作成	業界専門用語を分かりやすい表現にする。			
73～76	進級制作発表会リハーサル	本番を想定してリハーサルを行う。			
77～78	進級制作発表会本番	保護者向け発表会。			
79～80	振り返り	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		自分自身の成長やスキルアップにつなげるために、いろんな役割にチャレンジしてください。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界研究				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、いろいろな葬儀社を調査し、企業理念やvisionなど比較し自分の価値観と重ねる 2、葬祭業界の職種や働き方を調査し、自分が目指す姿を明確にする				
学習目標 (到達目標)	葬祭業界の企業や職種について知識を習得し、就職活動につなげる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	授業の目的を知る				
3・4	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
5・6	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
7・8	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
9・10	企業説明会に参加する（オンライン、対面）①	ワークシートを参照			
11・12	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
13・14	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
15・16	企業説明会に参加する（オンライン、対面）②	ワークシートを参照			
17・18	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
19・20	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成	ワークシートを参照			
21・22	企業説明会に参加する（オンライン、対面）③	ワークシートを参照			
23・24	振り返りレポート作成	ワークシートを参照			
25	発表				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度80% 振り返りレポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		授業の目的を意識しながら、グループワークを行いましょう。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	①サービススタッフに求められる振る舞いや身だしなみ、マナーを身につける。 ②通夜振る舞いや精進落としてのサービスに活かす				
学習目標 (到達目標)	一連のサービスができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~2	授業の目的・挨拶練習・テーブルクロス・ナフキン扱い方				
3~4	テーブルセッティング、ウォーターサービス				
5~6	トレイサービス、プレートサービス				
7~8	コーヒーサービス、ワインサービス				
9~13	一連の流れ 練習				
14~15	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		レストランサービスをベースに丁寧、迅速な振る舞いを身につけ、お客様から見て落ち着きや安心感を与えられるスタッフを目指しましょう。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル概論Ⅰ（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの種類・形態		↓		
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てて行く。			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	結婚式にまつわる意味や由来について	パワポで説明。ディスカッション。			
2	披露宴の演出について	パワポで説明。ディスカッション。			
3	披露宴の演出について	パワポで説明。ディスカッション。			
4	披露宴の演出について	パワポで説明。ディスカッション。			
5	結婚式に招待された場合のポイント説明	パワポで説明。ディスカッション。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を育てる。ブライダルにおける一般常識を学ぶ			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル	ヘアメイク実習			
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習	ヘアメイク実習			
5~8	メイク練習	ヘアメイク実習			
9~12	ヘアメイクを完璧に仕上げる	ヘアメイク実習			
13・14	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方	テキスト28・29Pを参考にしながら			
15・16	話し方:発声・活舌トレーニング	テキスト38~42p 50~52p			
17・18	発声・活舌トレーニング 敬語プリント	テキスト53~66p			
19・20	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ	テキスト67~68p			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。			
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				